



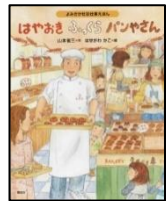
すすきのりこさんから

ほんかん かようび
本館（火曜日）のおはなし会を担当



『はやおきふっくらパンやさん』

やまもと しょうぞう さく え
山本 省三/作 はせがわ かこ/絵
(講談社)



おとうさんはとってもはやおき。パンやさんの1日を通して、おいしいパンが食べられるまでがわかるよ。はたらきもののパンやさんのおかげなんだね。

『おれ、よびだしになる』

なかがわ ひろたか/文 石川 えりこ/絵
(アリス館)



おすもうのよびだしさんって知ってる？ 子どもの時からよびだしになりたかったぼくのおはなし。夢をかなえるためにしゅぎょうをがんばる姿はかっこいい！



まつやま かずこさんから

ほんかん かようび
本館（火曜日）のおはなし会を担当



『ペレのあたらしいふく』

エルサ・ベスコフ/さく・え (福音館書店)



ペレは、1ぴきのひつじの毛からあたらしいふくができるまで、いろいろなおとなのおしごとのおてつだいをしました。さいごは、ひつじにありがとうをいいましたよ。

『おとうさん・パパ・おとうちゃん』

みやにし たつや/作・絵 (すすき出版)



みんなのおとうさんは、おしごととときはどんなふうによばれているかな？ おかあさんも「まま」ではなくよばれているよね、きっと。きいてみようか？



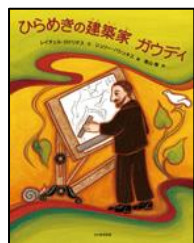
むらすみ ともこさんから

ほんかん かようび えべつぶんかん
本館（火曜日）と江別分館のおはなし会を担当



『ひらめきの建築家 ガウディ』

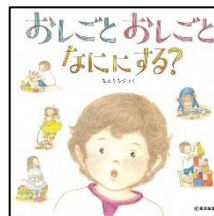
レイチェル・ロドリゲス/文
ジュリー・パシュキス/絵 (光村教育図書)



建物は、みんながびっくりするくらいがちりばめられています。建築家という夢のあるおしごとと、興味を持つきっかけとなる絵本です。

『おしごとおしごとなににする』

なとり ちづ/さく
(福音館書店)

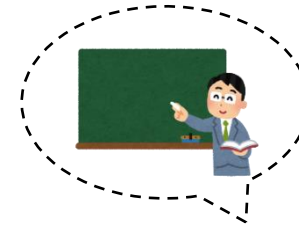


ふだん生活をしているところにも素敵なおしごとがあふれていることを感じる「子どもが初めて出会うおしごと絵本」です。

おすすめえほんリスト



おしごと いろいろ



えべつしじょうほうとじょかん

ねん がつはっこう
2022年4月発行



かたぎり あゆこさんから

ほんかん かようび おおあさぶんかん
本館（火曜日）と大麻分館のおはなし会を担当



『ゆうびんやさんおねがいね』

サンドラ・ホーニング/文
バレリー・ゴルバチョフ/絵 (徳間書店)



ゆうびんやさんは、遠くに住む大切な人たちへ、みんなの気持ちを届けてくれる素敵なおしごと。この本のコブタくんも何かを届けてもらいます。さて何かしら？

『エレナのセレナーデ』

キャンベル・ギースリン/文
アナ・フアン/絵 (BL出版)



大きくなったら何になりたい？ 夢に向かって生きることの素晴らしさを、ガラス吹きというしごとを通して教えてくれます。読んだ後に、勇気がわいてきます。



ねがみ さちえさんから

おおあさぶんかん
大麻分館のおはなし会を担当



『おしごとつかうのだあれ？』

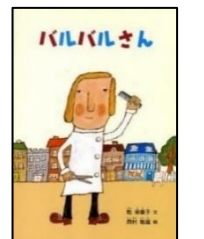
and EIGHT/さく
(交通新聞社)



いろいろなおしごとで使うものから、おしごとをあてるクイズ式。小さな子でも楽しめる、めくってなるほど！しかけ絵本です。

『バルバルさん』

いぬい えりこ ぶん にしむら としお え
乾 栄里子/文 西村 敏雄/絵
(福音館書店)

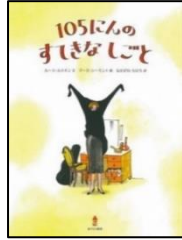


バルバルさんは町の床屋さん。毎日楽しく働いていますが、ある日ライオンがきて、次にワニが…。さてさてどんな髪型になるでしょう。ワクワクする絵本です。



じょうほうとしょかんのししょから

本館（第2土曜日）のおはなし会もきてみてね！



『105にんのすてきなしごと』
カーラ・カスキン／文
マーク・シーモント／絵
（あすなろ書房）

金ようびのよる、町のあちこちで105にんのおしごとに出かけるじゅんぴをしています。さて、これから何がはじまるのかな？



『はしれ！たくはいびん』
竹下 文子／作
鈴木 まもる／絵
（楷成社）

みんなの家に何か荷物が届いたことはあるかな？荷物はどんな旅をしているんだろう。たくはい会社で働く人や車がとうとうします。



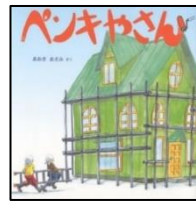
『ねずみくん おおきくなったらなにになる？』
なかえ よしを／作 上野 紀子／絵
（ポプラ社）

みんなはおおきくなったら、なにになりたいのかな？



『ルリユールおじさん』
いせ ひでこ／作
（理論社）

だいじな本がこわれちゃった。あたらしい本じゃなくてこの本がいいの！そうだ、ルリユールおじさんならきつとなおしてくれる。ルリユールおじさんにあいこいこう。



『ペンキやさん』
あおき あさみ／さく（福音館書店）
あっちゃんのおうちにやってきたペンキやさん。さあ、おしごとはじまり！



『しごとば』シリーズ
①～⑥
鈴木 のりたけ／作
（ブロンズ新社）

見れば見るほど楽しくなっちゃうおしごと本のシリーズ。いつもはなかなかのぞけないしごとばの様子や見慣れないしごと道具などもこまかく描きこまれていて、すみからすみまでながめていたくなります。親子でワクワクしながらページをめくってみてください。

- ①『しごとば』
- ②『続・しごとば』
- ③『続々・しごとば』
- ④『しごとば 東京スカイツリー』
- ⑤『もっと・しごとば』
- ⑥『やっぱり・しごとば』



『ドラゴンのお医者さん』
パトリシア・バルデス／文 フェリシタ・サラ／絵
（岩崎書店）

は虫類をこよなく愛する少女は、やがて専門の芸員の道に進んでいきます。「好き」があふれる気持ちがいっぱい伝わる1冊。絵もすてきです。

『どうぶつげんきにじゅういさん』



山本 省三／作
はせがわ かこ／絵
（講談社）

どうぶつ病院は朝からおおいそがし。ある日、車にはねられたネコが運ばれてきて……じゅういさんのおしごとをのぞいてみよう。



『そらのうへのそうでんせん』
鎌田 歩／作
（アリス館）

電気がどのようにみんなの家にとどくのかしら？



『モモンガのはいたつやさん』
ふくざわ ゆみこ／著
（文溪堂）

にんじんケーキを町のみんなのところへはいたつ！ あったかい絵本です。



『紙しばい屋さん』
アレン・セイ／作
（ほるぷ出版）

ずっとお休みしていた紙しばい屋さん。ひさしぶりに行ったまちはすっかりかわっていましたが、こどもたちを楽しませていたころのように、拍子木を打って紙しばいはじめると……

こちらもおすすめ！！



『ペロのおしごと』
樋勝 朋巳／作
（小学館）

大好きな飼い主のお母さんにプレゼントをあげたい犬のペロ。がんばっているいろんなおしごとでちょうせんするみたいだよ。



- 『なぜ僕らは働くのか』
池上 彰／監修（学研プラス）
- 『こども科学 職図鑑』
子供の科学／編（誠文堂新光社）
- 『お仕事図鑑300』
16歳の仕事塾／監修（新星出版社）
- 『SDGsでわかる今ない仕事図鑑ハイパー』
澤井 智毅／監修（講談社）

